

開設年度		開講部局	
2010		共通教育	
科目名			
二宮尊徳に学ぶ			
英語科目名			
It learns from Ninomiya-sontoku			
前後期		履修期	開講区分
前期		1期	毎週
科目形態	単位数	大分類(科目)	中分類(分野)
講義	2	教養科目	分野2
受講学部学科			
全			
担当教員		担当教員所属	
八幡 正則			
連絡先(TEL)		連絡先(MAIL)	
099-251-1118		hachiman@wine.ocn.ne.jp	
オフィスアワー(授業時間外の対応)			
Eメールで対応する。			
共同担当教員			
キーワード1		キーワード2	
社会的貢献意識		視野・判断力・探求能力	
授業概要(目的・内容・方法)			
二宮尊徳の実践を学ぶために、教科書に『二宮翁夜話』を用いる。学習方法として講義の中に輪読学習方式も取り入れる。			
学習目標			
1. 国家、企業、一家の興隆と衰退・滅亡の歴史観を学ぶ。 2. 国家、企業、一家の衰退を招く道德水準の低下について考える。 3. 西欧諸国に畏敬された日本の「恥を知る文化」を理解し得心する。 4. 国家、企業、一家の財政再建の基本戦略と報徳仕法を学ぶ。 二宮尊徳に学ぶことの意味 二宮尊徳が生きた幕末の時代は、財政破綻と少子高齢化で低成長を余儀なくされるいまの時代に酷似する。二宮尊徳が諸藩や村の財政再建にかかわった数は600余に及び、彼の思想は、人間の欲を認め、まわりと調和させながら、心も金も、同時に豊かにする「実学」である。すなわち、道德と経済である。だから道德を体とし、経済を用とし、この二つを至誠の一つで貫くのを道とする。そのことを深く理解し、志を高く掲げ、実践躬行を本分として精進する習慣を身につけるようにしたい。			
授業計画(15回に分け、回数、授業内容、自学自習等)			
1、今、なぜ二宮尊徳か 二宮尊徳の生い立ちと生涯 「二宮翁夜話」のあらすじ 2、「まことの大道」 3、「 ” 」続く 4、「天道と人道」 5、「 ” 」続く 6、「因果と輪廻の法則」 7、「吉凶禍福善悪の法則」 8、「無財より発財する勤儉の法則」 9、「生活を安定する分度の法則」 10、「幸福を永遠にする推譲の法則」 11、「国家盛衰の根源」 12、「治国の要道」 13、「一円融合の報徳修練」 14、勤儉・分度・推譲の教えをどう広めるか 15、まとめ			

受講要件	成績の評価基準
アメリカ文明の衰退という世界史における歴史的転換期の中で、日本の財政破綻、少子高齢化社会をどう生きるかに問題意識を持っていること。	出席50%、レポート50%の三つで、総合的に判断します。出席が3分の2未満、またはレポートの提出がない場合は、評価対象外とします
教科書	参考書
訳注『二宮翁夜話』（上）（下）	稲盛和夫著『人生の王道』 稲盛和夫著『成功と失敗の法則』
その他	